

平成25年度当初予算 施策 取組概要

313 林業の振興と森林づくり

(主担当部局：農林水産部)

- 31301 県産材の利用の促進 (農林水産部)
- 31302 持続可能な林業生産活動の推進 (農林水産部)
- 31303 林業・木材産業の担い手の育成 (農林水産部)
- 31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮 (農林水産部)
- 31305 森林づくりへの県民参画の推進 (農林水産部)
- 31306 森林文化および森林環境教育の振興 (農林水産部)

県民の皆さんとめざす姿

県産材の需要が拡大し、活発で持続的な林業が展開されるとともに、県民の皆さんによる、さまざまな形での森林づくりへの参画により、森林の再生が進んでいます。

平成27年度末での到達目標

建築用材だけでなく、エネルギー源など新たな用途での利用が進み、木材生産量が増加しています。また、森林環境教育や森林に親しむ機会の提供に加え、県民の皆さんや企業、ボランティア等が森林づくりに参画しやすい環境整備が進み、さまざまな主体による森林づくり活動が活発に行われるとともに、間伐等の森林整備が進み、森林の適正な管理が進んでいます。

| 県民指標 | | | | |
|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 目標項目 | 23年度 現状値 | 24年度 目標値 実績値 | 25年度 目標値 実績値 | 27年度 目標値 実績値 |
| 県産材（スギ・ヒノキ）素材 生産量 | — | 303 千m ³ | 336 千m ³ | 402 千m ³ |
| | 255 千m ³ | — | — | — |
| 目標項目の説明 | | | | |
| 【目標項目】 県内で生産されるスギ・ヒノキの供給量 | | | | |

| 活動指標 | | | | | |
|--------------------------|-------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 基本事業 | 目標項目 | 24年度 目標値 | 24年度 実績値 | 25年度 目標値 | 27年度 目標値 |
| 31301 県産材の利用の促進 | 「三重の木」認証材等 出荷量 | 32,000 m ³ | — | 37,000 m ³ | 50,000 m ³ |
| 31302 持続可能な林業生産 活動の推進 | 施業集約化団地面積 (累計) | 20,000ha | — | 30,000ha | 50,000ha |
| 31303 林業・木材産業の担い 手の育成 | 新規林業就業者数 | 40人 | — | 40人 | 40人 |

| 基本事業 | 目標項目 | 24年度 目標値 | 24年度 実績値 | 25年度 目標値 | 27年度 目標値 |
|------------------------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 31304 森林の適正な管理と 公益的な機能の発揮 | 間伐実施面積（累計） | 9,000ha | — | 18,000ha | 36,000ha |
| 31305 森林づくりへの県民 参画の推進 | 森林づくり参加者数 | 27,000人 | — | 28,000人 | 30,000人 |
| 31306 森林文化および森林 環境教育の振興 | 森林文化・森林環境教 育の活動回数 | 1,700回 | — | 1,800回 | 2,000回 |

進捗状況（現状と課題）

- 県産材の需要拡大を図るため、「三重の木」のPRを行う35の取組への支援を決定するとともに、「あかね材」モデルハウスを建築する「造るパートナー企業」20社及び「あかね材」を商業施設の内装等に使用する「見せるパートナー企業」3社を選定し、「三重の木」「あかね材」の利用拡大に取り組んでいます。今後は、さらなる販路開拓とともに、「あかね材」の認知度向上に取り組んでいく必要があります。
- 木質バイオマスの安定供給体制づくりを促進するため、県内9地域の「地域林業活性化協議会」に木質バイオマス推進員を配置するとともに、県内の林業関係者を対象に安定供給体制づくりのためのセミナー（3回）を開催したほか、供給事業者の収集・運搬機械の導入等を支援（8事業体）しています。また、県産木質チップの発電への利用促進に取り組んだ結果、8月に木質バイオマス発電の協同組合が設立されました。今後も、安定供給体制づくりに向けた供給事業者の拡大とともに、発電や熱利用など木質バイオマスのエネルギー利用の拡大に取り組む必要があります。
- 森林施業の集約化や路網の整備等を促進するための森林経営計画制度について、市町や森林組合等の林業事業体に対して、研修会を開催したほか、個別に指導・助言を行い制度の普及を図っています。今後も、さらなる制度の普及を図るとともに、森林経営計画作成に向け、森林組合等の林業事業体と森林所有者の合意形成を促進することが必要です。
- 林業の担い手を確保するため、林業関係団体と連携した就業フェアの開催や高校生の職場体験研修、建設業等異業種の参入促進のための研修会を開催しました。また、県産材の効率的な生産のため、高性能林業機械の操作研修会とともに、森林経営計画の作成を推進する森林施業プランナーの育成研修会を開催しました。しかし、依然、担い手や技術力等が不足していることから、これらの取組を継続して実施していく必要があります。
- 環境林整備を促進するため、市町の協力を得て事業に取り組んでいます。また、所有者の意向調査や現地の状況調査等の結果を踏まえ、事業の仕組みを見直したところです。今後は、新しい制度のもとで森林の適正な管理を進める必要があります。
- 県民の皆さんの森林への理解の醸成を進めるため、森林フェスタや森の講座、団体と協働した森林に親しむイベント等を県内各地で開催するとともに、ホームページやフェイスブック、森林づくりニュースの発行などを通して、森林づくりに関する情報発信を行っています。今後も、引き続き様々な催しや情報ツールを活用して、PRを行っていく必要があります。
- 森林環境教育の指導者登録制度を設け、知識や技能を持った県民の皆さんの協力のもとに、小学校での森林環境教育の機会の提供を進めています。今後は、小学校への森林環境教育の浸透をさらに図る必要があります。
- 紀伊半島大水害により被災した林道施設等の早期復旧に取り組んでいます。今後も、被災した林道施設等が早期に復旧できるよう計画的な発注に努めていく必要があります。

- ・ 森林づくりに関する税検討委員会からの答申を踏まえ、県として災害に強い森林づくりを進めるための税の導入案をとりまとめました。今後は、円滑な税導入に向けて市町との連携を図るとともに県民の皆さんの理解を得ていく必要があります。

平成 25 年度の取組方向

農林水産部

- ・ 品質や規格の明確な「三重の木」「あかね材」等の利用拡大を図るため、住宅等への利用促進に向けたPR活動への支援や首都圏における販路開拓などに取り組みます。特に、「あかね材」については、引き続き、モデルハウスや商業施設に「あかね材」を利用する民間企業と連携して利用意義などをPRするとともに、公共建築物における利用促進に取り組み、その認知度向上と利用拡大を図ります。
- ・ 木質バイオマスの安定供給体制づくりについては、森林組合や県内の林業関係者等で構成する協議会を活用し、関係者との連携を強化するとともに、供給事業者への収集・運搬機械等の導入支援を行い、供給事業者の育成に取り組みます。また、木質バイオマスのエネルギー利用の拡大に向け、木質チップの供給や発電・熱利用施設の整備を促進します。
- ・ 市町等と連携して、森林経営計画制度の普及・定着に取り組むとともに、森林経営計画作成に向け、森林組合等の林業事業者が森林所有者と合意形成を図るための活動を支援します。
- ・ 林業の担い手の確保については、就業フェアの開催や職場体験研修、新規参入促進のための研修などを開催します。また、県産材の効率的な生産に必要な機械操作に習熟した技術者を育成するとともに、森林施業の集約化を担う森林施業プランナーなどを育成します。
- ・ 環境林整備については、新しい制度のもと、森林組合等の林業事業者や市町が取り組む間伐等の施業を支援し、森林の適正な管理を進めます。
- ・ 県民の皆さんの森林に対する理解の醸成については、イベント、ホームページやフェイスブック、森林づくりニュース等の森林づくりに関する啓発ツールの内容の充実を図ります。また、10月の三重のもりづくり月間での重点的な取組に加え、関係団体等と連携し1年を通して様々な啓発活動を行います。
- ・ 森林環境教育については、指導者の増加とスキルアップを図るとともに、小学校への情報提供と森林環境教育活動の支援を進めていきます。
- ・ 紀伊半島大水害により被災した林道施設等の復旧については、市町等と連携して平成25年度完了に向けて取り組みます。
- ・ 災害に強い森林づくりを進めるため、県内各地の説明会等を通して県民の皆さんの幅広い意見を伺いながら、「みえ森と緑の県民税」の平成26年4月からの導入に向けた取組を進めます。

主な事業

農林水産部

● 「もっと県産材を使おう」推進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)

当初予算額：(24) 6, 583千円 → (25) 2, 481千円

事業概要：県産材の利用拡大を図るため、「三重の木」認証事業者が行う住宅等への利用促進に向けた「三重の木」のPR活動を支援するとともに、国において新たに創設される「木材利用ポイント」制度が有効に活用されるよう、工務店や県民の皆さん等に対してPRを行います。(「三重の木」PR活動支援 15取組)

- エコブランド「あかね材」販売促進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)
 当初予算額：(24) 9,972千円 → (25) 8,653千円
 事業概要：「あかね材」利用を進める工務店などの「パートナー企業」を創出し、住宅や商業施設等への利用拡大と認知度向上を図ります。(モデルハウスを用いたPR活動支援18件)

- (一部新)木質バイオマスエネルギー利用促進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)
 当初予算額：(24) 19,088千円 → (25) 9,901千円
 事業概要：木質バイオマスの安定供給体制を構築するため、森林組合、素材生産業者、林家等による協議会を開催するとともに、チップ原料を供給する事業者や林業者と建設者の連携事業者の収集・運搬機械導入や新たな雇用の支援などを行います。(チップ原料供給事業者支援5者)

- 新たな木質バイオマス供給拠点づくり事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)
 当初予算額：(24) 7,500千円 → (25) 6,052千円
 事業概要：木質バイオマスを安定的に供給できる体制を構築するため、高性能林業機械のリース費用を支援するとともに、東紀州から松阪までの輸送経費相当額の支援を行います。(チップ原料供給機械等支援、チップ流通支援1,488t)

- 森林整備加速化・林業再生基金事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)
 当初予算額：(24) 957,054千円 → (25) 4,423,988千円
 事業概要：林業・木材産業の再生を図るため、三重県森林整備加速化・林業再生基金を活用し、間伐等の森林整備、林内路網整備、木材加工流通施設整備、木質バイオマス利用施設整備等を支援します。(間伐面積2,102ha、木質バイオマス利用施設整備3施設)

- 造林事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 5 造林費)
 当初予算額：(24) 276,202千円 → (25) 194,017千円
 (276,202千円 → 443,467千円 ※2月補正含みベース)
 事業概要：森林の有する多面的機能の維持・増進や持続的林業生産活動等の推進を図るため、植栽、下刈、搬出間伐等の森林整備や路網整備を支援します。

- 林道事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 6 林道費)
 当初予算額：(24) 734,850千円 → (25) 538,186千円
 (734,850千円 → 901,036千円 ※2月補正含みベース)
 事業概要：木材の生産や搬出に必要な林道を開設するとともに、輸送力の向上と通行の安全の確保等を図るため、既設林道の改良などを実施します。

●森林経営計画作成推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)

当初予算額：(24) 36,948千円 → (25) 43,419千円

事業概要：林業事業者等による森林経営計画の作成を促進するため、境界確認や森林所有者との合意形成活動等を支援します。また、集約化施策を促進するため、間伐を行うために必要な調査や既存路網の簡易な改良等を支援します。(地域活動支援 3,166ha)

●がんばる三重の林業推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)

当初予算額：(24) 74,427千円 → (25) 41,992千円

事業概要：森林の団地化・施策の集約化や路網整備等と搬出間伐の一体的な実施、流通の合理化の取組を支援し、架線技術の継承など技術者の養成を進めることにより、木材生産コストを低減し、安定供給体制の構築を促進します。(作業道整備 26,050m)

●(新)アグロフォレストリーモデル事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費)

当初予算額：(24) ー千円 → (25) 4,000千円

事業概要：林業の複合経営を推進するため、森林所有者等が新たな林業収入を得るための取組として、水田跡造林地において、伐採したスギを木質バイオマスとして利用するとともに、シイタケ原木であるクヌギ等の植林を行う費用等に支援します。(水田跡造林地の伐採搬出 10ha、シイタケ原木植林 12ha)

※アグロフォレストリー (Agroforestry) とは、林業と農業等の他産業を組み合わせた複合経営を意味します。

●林業担い手育成確保対策事業【基本事業名：31303 林業・木材産業の担い手の育成】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 1 林業総務費)

当初予算額：(24) 10,439千円 → (25) 15,127千円

事業概要：林業の担い手を確保するため、職場体験研修等を開催するとともに、林業への就業に向け、必要な知識の習得等を行う青年に対して資金の給付を行います。また、林業機械の操作やメンテナンス等に習熟した技術者を育成します。(グリーン・オペレーター育成研修 3回)

●森林環境創造事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 9 森林総務費)

当初予算額：(24) 240,390千円 → (25) 189,882千円

事業概要：環境林に区分された森林のうち、所有者から提供された森林を公共財として位置づけ、森林の有する公益的機能が持続的に発揮されるよう、間伐等により針葉樹と広葉樹との混交林への誘導を行うなど、森林の適正な管理を進めます。

●森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 9 森林総務費)

当初予算額：(24) 79,052千円 → (25) 72,994千円

事業概要：かつて野生鳥獣の住処であった健全な森林を再生するとともに、集落付近の森林において野生鳥獣の隠れ場所等を解消し、野生鳥獣の出没機会の減少を図ります。

●みんなでつくる三重の森林事業【基本事業名：31305 森林づくりへの県民参画の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 8 緑化対策費)

当初予算額：(24) 7,128千円 → (25) 6,543千円

事業概要：県民による森林づくり活動への参加を進めるため、県民、企業、NPO等への情報提供や支援とともに、10月の三重のもりづくり月間にイベントを行います。(森林フェスタ開催 1回)

●みえの森っ子まなびや・活動体験事業【基本事業名：31306 森林文化および森林環境教育の振興】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 8 緑化対策費)

当初予算額：(24) 4,427千円 → (25) 2,453千円

事業概要：子供たち等の森林や木材に関する理解を深めるため、森林の講座など森林に関する学習機会等の増大を図ります。(森林の講座開催 7回)

●林道施設災害復旧事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

(第11款 災害復旧費 第1項 農林水産施設災害復旧費 2 林野災害復旧費)

当初予算額：(24) 528,577千円 → (25) 711,406千円

事業概要：紀伊半島大水害等により被災した林道施設などの復旧を支援します。

●(新)みえ森と緑の県民税導入準備事業【基本事業名：31305 森林づくりへの県民参画の推進】

(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 8 緑化対策費)

当初予算額：(24) - 千円 → (25) 17,536千円

事業概要：平成26年4月の導入をめざす「みえ森と緑の県民税」について、県民理解を促進するため、様々な媒体を活用した丁寧な周知を行うとともに、税導入と同時に迅速に税収事業を展開するため、事業予定地の調査等の必要な事前準備を行います。(県民説明会等の開催、ラジオ・テレビ等での周知、事業予定地事前調査 40箇所)